

2022年12月23日

一般社団法人 日本泌尿器科学会  
理事長 殿

公益財団法人 健康加齢医学振興財団  
理事長 家森 幸男



謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本財団の事業ならびに運営につきまして、格別のご協力を賜り有難うございます。

さて、公益財団法人 健康加齢医学振興財団では公益事業の一つとして、人、とくに患者を対象とした加齢に伴って起こる疾患に関する研究 (patient-oriented research) で顕著な業績を挙げた国内の研究者、または研究グループに「井村臨床研究賞」を贈り顕彰するとともに、これらの研究で注目すべき成果を挙げている若手研究者を奨励する褒賞として「井村臨床研究奨励賞」を贈呈します。

対象となる研究は、加齢に関係して起こる心血管系疾患、内分泌代謝疾患などの病因や病態生理の解明、新しい診断・治療・予防法の開発、疫学的研究、基礎研究の成果を臨床応用に展開する橋渡し研究 (translational research) などであり、我が国における臨床研究の推進を目的としております。

つきましては、このたび全国の医科大学学長、医学部長、医系研究機関の長等に2023年の公募推薦依頼をしたところではありますが、貴台からも学会の関係各位に周知いただくとともに、両賞に相応しい評価の高い研究業績を挙げている候補者を御推薦いただきたく、同封の公募要項により御案内いたしますので何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、先生のご健勝と関係研究の発展をお祈り致しております。

敬白

同封書類

「井村臨床研究賞」、「井村臨床研究奨励賞」公募要項  
(公財)健康加齢医学振興財団のリーフレットおよび News Letter

2023年

## 井村臨床研究賞(第17回)の公募

現在全世界で高齢化が進み、心血管系疾患、糖尿病・肥満などの内分泌代謝疾患が増加し、対策が急がれています。これらの疾患は、遺伝素因と環境因子の相互作用によって起こる多因子疾患で、胎生期から小児期までの早期環境の影響も大きいことが知られており、ライフコース全体にわたるヘルスケアの重要性が明らかになっています。

当財団はこうした広い視野に立って、この分野で優れた成果を挙げた研究者またはグループを顕彰するため、本年は井村臨床研究賞候補者を公募いたします。

### 井村臨床研究賞

**趣 旨** 胎生期から高齢までの加齢に伴う身体機能の変化の機構と、それに関連して起こる心血管系疾患、内分泌・代謝疾患などの成因、病態、診断、治療などに関する人を対象としてなされた臨床研究(橋渡し研究、疫学研究も含む)で優れた業績を挙げた国内の研究者またはグループに贈呈します。

**贈 呈 数** 1名または1研究グループ

**内 容** (1) 賞状 (2) 賞牌(ゴールド・メダル)  
(3) 副賞(研究助成金200万円)

**締 切** 2023年4月20日(郵送の場合は、当日消印分を認めます)

**応募規定** (1) 他薦に限る (2) 研究分野: 上記趣旨のとおり  
(3) 推薦書: 以下の5項目の資料を財団規定の用紙により作成し、財団事務局に送付願います。

なお、規定用紙は当財団のホームページ(<https://www.rfha-jpn.org>)で開示していますのでダウンロードして下さい。

- ① 履歴事項                      ② 推薦理由                      ③ 研究業績概要  
④ 主要文献リスト                      ⑤ 主要論文の別刷(5編以内、コピー可)

**審 査** 審査は当財団の井村賞選考委員会で行い、8月上旬に結果を通知する予定です。

**授 与 式** 2023年12月 京都市で開催の健康加齢医学シンポジウム会場で行います。又、そのシンポジウムでは井村臨床研究賞受賞記念特別講演をお願いする予定にしております。

**既受賞者** 受賞者名と受賞研究課題は、当財団ホームページに開示しています。

その他お問合せは下記まで。ただし、審査経過等のお問合せには応じかねます。

### 公益財団法人 健康加齢医学振興財団

〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町15番地生産開発科学研究所3F

TEL・FAX: 075-744-0070

E-mail: [info@jvdrf.or.jp](mailto:info@jvdrf.or.jp)

2023年

## 井村臨床研究奨励賞(第17回)の公募

現在全世界で高齢化が進み、心血管系疾患、糖尿病・肥満などの内分泌代謝疾患が増加し、対策が急がれています。これらの疾患は、遺伝素因と環境因子の相互作用によって起こる多因子疾患で、胎生期から小児期までの早期環境の影響も大きいことが知られており、ライフコース全体にわたるヘルスケアの重要性が明らかになっています。

当財団はこうした広い視野に立って、この分野で意欲的な研究を進めつつある若い研究者を支援するため、本年は井村臨床研究奨励賞候補者を公募します。

### 井村臨床研究奨励賞

**趣 旨** 胎生期から高齢までの加齢に伴う身体機能の変化の機構と、それに関連して起こる心血管系疾患、内分泌・代謝疾患などの成因、病態、診断、治療などに関する人を対象としてなされた臨床研究(橋渡し研究、疫学研究も含む)において、注目すべき優秀な研究業績をあげている国内の若手研究者に対し、その将来の発展を期待して贈呈します。

**贈 呈 数** 2名以内

**内 容** (1) 賞状 (2) 賞牌(シルバー・メダル) (3) 副賞(研究助成金30万円)

**締 切** 2023年4月20日(郵送の場合は、当日消印分を認めます)

**応募規定** ①応募には、財団様式による推薦書の添付が必要です。規定用紙は当財団のホームページ(<https://www.rfha-jpn.org>)で開示していますのでダウンロードして下さい。

②候補者は、2023年3月31日現在で45歳未満であること。

**審 査** 審査は当財団井村賞選考委員会で行い、8月上旬に結果を通知する予定です。

**授 与 式** 2023年12月 京都市で開催の健康加齢医学シンポジウム会場で行う予定です。

**既受賞者** 受賞者名と受賞研究課題は、当財団ホームページに開示しています。

その他お問合せは下記まで。ただし、審査経過等のお問合せには応じかねます。

**公益財団法人 健康加齢医学振興財団**

〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町15番地生産開発科学研究所3F

TEL・FAX: 075-744-0070

E-mail: info@jvdrf.or.jp